

人が好き、
町が好き、
さあ始めよう！
地域づくり。

平成30年7月豪雨での 被災者支援における 地域連携に関する報告

Relwa 08

2026.5

Presenter



広島県済生会
坂町地域包括支援センター

センター長・社会福祉士 木下 健一
(坂町認知症地域支援推進員)
(広島市認知症アドバイザー)
(広島県防災会議幹事)
(広島文教大学・広島文化学園大学 非常勤講師)

広島県



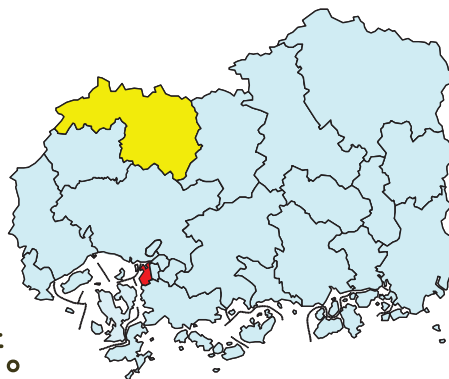
akigun

坂町

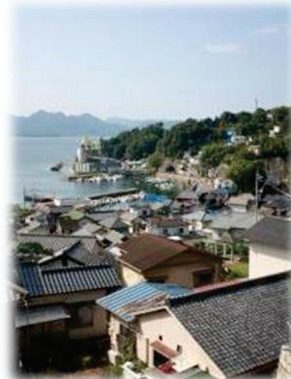
saka town

潮の香りと緑ゆたかな坂町

(R8.4.1現在)



- 人口12,220人、高齢化率30.3%
- 二極化した特性。高齢化する従前の地域。駅前新興地域の高齢化率は一桁。
- 山に面した住宅が多く家まで車が入らないエリアも多い。
- 呉市、広島市に隣接。JR広島駅まで電車で18分。
- 地域包括支援センターは1カ所。



平成30年7月豪雨

人的被害…直接死16人、関連死5人、行方不明1人

水道被害…最大で1,300世帯が断水。7月16日には解消

電気被害…1,300世帯で停電。7月12日 17:38解消(居住可能世帯)

鉄道被害…不通となる。8月2日に一部区間で再開。

大雨注意報	7/5	12:38
大雨警報(土砂災害)	7/6	5:40
洪水注意報	7/6	10:06
大雨警報(浸水害)	7/6	10:06
避難準備情報(避難所4カ所開設)	7/6	15:00
土砂災害警戒情報	7/6	17:35
当時避難勧告	7/6	17:40
災害対策本部設置	7/6	17:40
大雨特別警報	7/6	19:40
当時避難指示(緊急)	7/6	19:40

坂町内の被害状況



●人口：13,347人 (30.7.1)

地区	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	計
坂地区	77	157	337	240	811
横浜地区	22	10	18	38	88
小屋浦地区	189	310	140	53	692
計	288	477	495	331	1,591

●全壊した家屋は288件に上り、大規模半壊、半壊、一部損壊を合わせると被災世帯は1,591件に上る。

●坂町全体で5,845世帯(30.7.1現在)であったため、被災世帯は約27%に達し、甚大な豪雨被害となった。



坂町地域支え合いセンター受託

- 全国の多くの支え合いセンターは社会福祉協議会に業務委託されるが、坂町は**社会福祉法人 恩賜財団 済生会**が受託。
- **平成30年10月1日**に坂町地域支え合いセンターを3名で開設…その後事務所を2拠点とし、職員13名（専任7名、兼務6名）で運営。
- 2名が1組となり世帯訪問等を実施。
- 令和3年度末でセンターを閉所。



HIROSHIMA SAISEIKAI SAKA HOUKATSU

被災者支援スタッフの状況、専門家との連携

- 地域支え合いセンターの事業は有期限になるため、雇用できるのは経験不問で非常勤の職員が中心になった。

【相談の種類】

- ① 正解や助言、支援金や減免制度などの紹介を求める相談
- ② 喪失感や伝い思いへの共感やメンタルケア



①の相談について、十分な知識を有している専門人材が支え合いセンターには居ない状況でした。



HIROSHIMA SAISEIKAI SAKA HOUKATSU

支援者の支援にかかるニーズについて

- 被災者支援を経験したことのある地域の支援者
- 被災者支援を経験したことが無い地域の支援者

被災者支援の経験がない支援者は、どのような制度があり、誰が対象なのか…など、詳細も分からず大きな不安がある状況 ▶ **司法関係者のサポートは重要！**



 HIROSHIMA SAISEIKAI SAKA HOUKATSU

司法関係者との連携で意識したこと

再建に係る支援制度だけでなく、家を解体する、売却し新たな地で再建する、リバースモーゲージ、災害公営住宅の入居時、保証人が立てられない時は…等、**急遽被災者支援に携わることになったスタッフ**では十分な説明や、制度の対象になるか、否かも自信を持って紹介ができなかった…

➡ **司法関係者との連携が非常に有用**



この点では、当時、法律関係者のお力を大きくお借りした点であり、スタッフの大きな安心感になっておりました。

 HIROSHIMA SAISEIKAI SAKA HOUKATSU

協力頂いた『専門家派遣事業』 相談会

平成30年7月豪雨災害
坂町 地域支え合いセンター
なんでも **相談** 無料 予約不要
お悩み

平成31年
第1回 1/12 (土) 坂町役場 1階 民生課前
第2回 1/19 (土) たかね荘こやうら 1階
第3回 1/26 (土) 坂町役場 1階 民生課前

いずれも10時～12時 弁護士・司法書士等の専門家が、個別に お話しをお聞きます。

ご近所とのトラブル 間に専門家に入ってもらい解決したい

お金の支給制度 義援金 家の修理 解体 不動産の登記

ローンの返済が苦しい 家庭内の問題 離婚 相続

事業者を支援 グループ補助金 借地・賃貸 農地 お墓 空き家

住宅再建の資金を借りる 車 廃車手続 認知症の家族

支払いできず滞納しそう ガレキの撤去 がけ崩れの予防

広島県と坂町地域支え合いセンター、弁護士・司法書士等の士業団体の協力により実施いたします。

平成30年7月豪雨災害
坂町 地域支え合いセンター
なんでも **相談** 無料 予約不要
お悩み

令和2年 1/10 (金) 坂町役場 1階 民生課前
1/21 (火) たかね荘こやうら 1階

いずれも10時～12時 弁護士・司法書士等の専門家が、個別に話を聞きます。坂町地域支え合いセンター職員もおります。お気軽にご相談ください。

ご近所とのトラブル 間に専門家に入ってもらい解決したい

お金の支給制度 義援金 家の修理 解体 不動産の登記

ローンの返済が苦しい 家庭内の問題 離婚 相続

事業者を支援 グループ補助金 借地・賃貸 農地 お墓 空き家

住宅再建の資金を借りる 車 廃車手続 認知症の家族

支払いできず滞納しそう ガレキの撤去 がけ崩れの予防

広島県と坂町地域支え合いセンター、弁護士・司法書士等の士業団体の協力により実施いたします。

毎月相談会を開催して頂き、希望世帯には個別にアウトリーチ対応も行って頂きました

ご近所とのトラブル 間に専門家に入ってもらい解決したい

お金の支給制度 義援金 家の修理 解体 不動産の登記

ローンの返済が苦しい 家庭内の問題 離婚 相続

事業者を支援 グループ補助金 借地・賃貸 農地 お墓 空き家

住宅再建の資金を借りる 車 廃車手続 認知症の家族

支払いできず滞納しそう ガレキの撤去 がけ崩れの予防

広島県と坂町地域支え合いセンター、弁護士・司法書士等の士業団体の協力により実施いたします。



来所による相談会が難しい方などの為に、アウトリーチによる『訪問』にて対応も頂きました！

平時から構築するつながりと連携の重要性

しかし、災害発生後に初めて会う司法関係者と、いきなり密な連携をとることに難しさを感じる職員も多い。

人柄などが分からなければ、支え合いセンターの職員も相談に緊張や萎縮をしてしまうこともあり、被災者に寄り添った相談対応をして頂けるか…など、被災者に司法専門家に相談に伺う様に後押しすることにも躊躇してしまう。



平時から連携し、『この人になら相談できる。なんでも相談できる』という信頼関係が構築されていることが重要！

平時から連携して取り組んでいた主な支援内容



HIROSHIMA SAISEIKAI SAKA HOUKATSU

これからの連携・協働で期待すること

●顔の見える関係の構築

医療介護連携においても連携の仕組みというよりは『人と人のつながり』である属人的なネットワークが大きな効果を発揮している。互いに、この人になら相談できる！と思える信頼関係が構築できる。

●お互いが分かる言葉でのやりとり

専門用語は同職種連携の場合にすごく効率的に意思疎通できるが、多職種連携の場面においては『伝えた』と『伝わった』に差が生じてしまう。

●司法と福祉の協働

支援者の専門が違うが故に、各分野の高度な支援を結集させ、力強い支援につながる。

生活困窮から万引きや窃盗などの事件につながったり、出所後（特に満期）に再犯など、司法と福祉（生活支援）が手を携えることで大きく減らすことに寄与できると感じている。

HIROSHIMA SAISEIKAI SAKA HOUKATSU

最後に・・・

法テラス広島には、行政機関職員等の支援者が要支援者の法的問題に直面した際に助言や情報提供を受けられる電話相談窓口『支援者相談ダイヤル』があり、平時から弁護士の方とつながりを持たせていただいております、信頼関係の構築にも大きく影響しています！

この様に、平時の場面から違う専門性を持つ専門職同士が手を携えながら信頼関係を構築していることは、有事にも大いに機能を発揮すると実感しています。

HIROSHIMA SAISEIKAI SAKA HOUKATSU

自己紹介 Profile 木下 健一 (センター長・社会福祉士・主任CM)



大学卒業後、恩賜財団広島県済生会へ入職。在宅介護支援センター、特別養護老人ホーム生活相談員を経て平成21年坂町地域包括支援センター社会福祉士として勤務。平成30年7月の豪雨災害を受けて同年10月に被災者の生活再建支援を行う坂町地域支え合いセンター長を兼務。その他、広島文教大学、広島文化学園大学 非常勤講師。広島県包括ケア推進センター、広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会研修企画委員。坂町自立支援協議会、町内学校運営協議会会長、中・小学校 評議員。広島県防災会議（幹事）等。令和6・7年度 厚生労働省 老人保健健康増進等事業 調査検討委員。

災害関係のメディア・掲載・紹介等

- 広島ホームテレビ 『広島県民テレビ』
安心を共に支え合う暮らし 2018年11月16日放送
- ひろしま県民だより (広島県広報誌355号)
ともに、新たな一歩を。
- 中国新聞 『命を守る 検証』2019年4月12日朝刊
災害後の地域考える 坂で住民ら意見交換
- 中国新聞 『命を守る 検証』2019年4月21日朝刊
避難情報 誤解多く 新指針 検証不可欠
- NHK総合 『おはよう日本』2019年7月7日放送
西日本豪雨から1年 進めぬ帰還 再建の課題は？
- NHK広島放送局 『お好みワイド』
高齢者を対象に防災講座開催 2019年11月20日放送
- 朝日新聞 (長野県版+朝日新聞デジタル)
復興への知恵 2019年12月5日発行
- NHK広島放送局 『お好みワイド』
仮設住宅の被災者 電話で孤立防ぐ 2020年3月13日放送
- RCC中国放送 『RCC NEWS』2020年4月21日放送
災害公営住宅に入居開始 コロナの影も
- NHK広島放送局 『お好みワイド』
被災者への訪問活動 今週から再開 2020年5月22日放送
- NHK総合 (全国放送+中国5県向け放送) 『NHK NEWS』
広島県坂町で高齢者の防災講座 2020年6月27日・28日放送
- 広島テレビ 『テレビ派』 2020年7月6日放送
豪雨から2年 住宅失った住民「早く元の生活に」
- NHK広島放送局 『ラウンドちゅうごく』2020年7月6日放送
水害から命を守る 西日本豪雨2年 被災者の孤独と不安
- 朝日新聞 (デジタル) 2020.12.27発行
西日本豪雨2年 復興はまだ終わっていない
- 中国新聞 『被災者支援の拠点統合』2021年3月2日朝刊
来月小屋浦に統合 見守り対象者減
- NHK広島放送局 『お好みワイド』 2021年7月1日放送
復興途上の坂町 小屋浦 戻る被災者は
- ニッポン放送 FM/AM 『薬師丸ひろ子 ハート・デリバリー』
いきいき百歳体操・介護予防のお話 2021年9月12日放送
- FM軽井沢 『軽井沢ラジオ大学』 2024年9月12日放送
日常に眠る付加価値に気づくこと…地域はなぜつながった方が良いのか？



社会福祉法人
恩賜財団 **済生会**
おんしぎいだんさいせいかい



瀬戸内海巡回診療船『済生丸』



済生会は、明治天皇が医療によって生活困窮者を救済しようと明治44(1911)年に設立しました。

100年以上にわたる活動をふまえ、今、次の三つの目標を掲げ、日本最大の社会福祉法人として全職員約64,000人が40都道府県で医療・保健・福祉活動を展開しています。

- 生活困窮者を**済**(すく)う
- 医療で地域の**生**(いのち)を守る、
- 医療と福祉、**会**を挙げて切れ目のないサービスを提供。

病、老い、障害、境遇.....悩むすべてのいのちの虹になりたい。

済生会はそう願って、いのちに寄り添い続けます。



広島県済生会



【呉地区】

- 済生会呉病院 他

【広島地区】

- 済生会広島病院 ●健康管理センター
- 老人保健施設はまな荘 ●はまな荘デイケア
- 訪問看護ステーションやすらぎ ●居宅介護支援事業所さいせい
- 特別養護老人ホームたかね荘 ●たかね荘デイサービスセンター
- たかね荘ホームヘルプサービス ●ケアハウス安芸
- 特別養護老人ホームたかね荘こやうら
- 坂町地域包括支援センター (町委託事業)